

第2学年学級活動「冬を元気にすごそう」

対象：第2学年3組30名

1 題材名「冬を元気にすごそう」

2 題材の評価規準

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
冬を元気に過ごすために、手洗いのための自己の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、正しい手洗いの知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の手洗いの課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分の課題に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	冬を元気に過ごすために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組もうとしている。

3 題材観

本校の12月の保健目標は「冬を元気にすごそう」である。保健目標は、児童一人一人の目標であるため、日頃から意識しながら過ごしていくべきである。しかし、本学級の児童は保健目標を意識しながら行動することができていない。さらに、12月は風邪や感染症等が流行る時期である。そこで冬を元気に過ごすために、児童が自分でできることを考えていき、保健目標を一人一人の目標として意識化できるようにするため、学級活動(2)のウ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」で、指導していきたい。冬を元気に過ごすために児童ができることは「早寝早起き」や「しっかりと食事をする」などいくつか考えられるが、その中でも学校で実践できることとして「手洗い」に着目した。さらに、児童の普段の様子を観察すると、給食前に手洗いをしていない児童や石けんをつけて洗っていない児童がいることも分かった。そこで、手を清潔に保つことは風邪をはじめとする感染症と大きな関係があることに気づき、これまでの手洗いの仕方について見直し、元気でいるためにはどのように手を洗えばよいのか考え、より元気に過ごすために行動できるようになってほしいと願い、本題材を設定した。手の汚れは、土や鉛筆等の目で見て分かる汚れであれば手を洗おうという意識が働くが、目に見えない汚れは手を洗う必要性を感じづらい。そこで、本題材では児童が普段行っている手洗いをしたあとの手の汚れを視覚化し、手洗いにおける課題を見付けやすくするとともに、解決に向けてどのように手を洗えばよいのかを考え、実践しようとする態度を育てていくことをねらいとする。また、冬を元気に過ごすために、手洗いについて自分の課題に合った目標を設定することで、主体的に取り組んでいくことができるようにしていく。

また、養護教諭との連携を図り、石けんを使うことの必要性について説明することにより、石けんを使って手の細かい部分まで正しく洗おうとする意欲を高め、行動変容を図りたい。

4 児童の実態

本学級の児童は、休み時間は外でよく遊んでいる。給食では、残さず食べる児童が多い。しかし、健康に対する考えは薄い。そこで、12月の保健目標「冬を健康にすごそう」について、「①毎月の保健目標を知っていますか。見えていますか。」と聞くと、「はい」と答えた児童は、27人中9人(33%)であった。②「毎月の保健目標を意識して行動していますか。」の質問には、27人中23人(85%)が「はい」と答えているが、実際の行動に表れているかは疑問である。健康に対する意識が行動に表れているのか、手洗いの実態を知るために、低学年の通路にある水道にビデオカメラを設置して、児童の給食前の手洗い行動を3日間観察した。本学級の3日間の様子を分析すると、「水道に来た児童」は、58人(67%)、「水道に来ていない児童」は、29人(33%)だった。「水道に来た児童」の中で、「手を洗った児童」が50人(86%)、「手を洗っていない児童」が8人(14%)だった。

「手を洗った児童」の手洗い部位をみると、指先や指全体のみしか濡らしていなかったり、片手しか濡らしていなかったりする児童は、142人中68人(48%)であることが明らかになった。

また、2年生全体で「石けんをつけて手を洗った児童」は142人中56人(39%)、一方で「石けんをつけずに手を洗った児童」は、142人中86人(61%)であることが明らかとなった。

2年生の「手洗いをしている秒数」の平均は、10.3秒であったが、手洗いの短い児童は、わずか0.1秒から0.9秒で済ませていることが分かった。さらに、手を洗った後に、ハンカチで手を拭く児童は、74人(43%)しかおらず、残りの児童はズボンで拭いたり、その場で水滴を落としたりしていた。

このことから、手洗いの特徴として、「手洗いをする児童」は全体の262人中148人(58.7%)、また、手洗いをしたとしても石けんをつけていない児童は148人中86人(60.5%)ということが分かった。

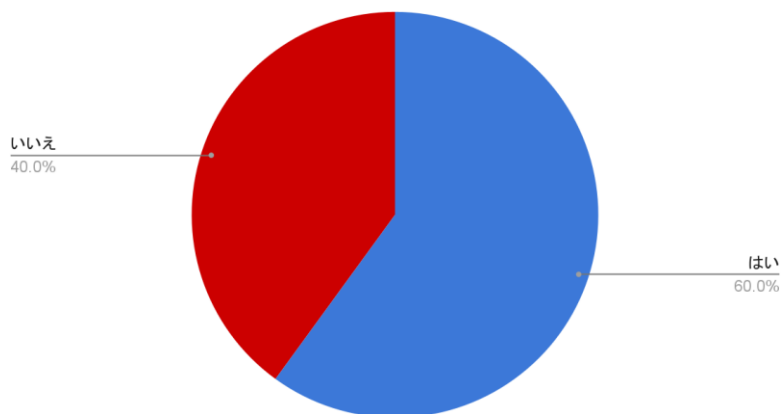
そこで児童が、元気にすごすことの必要性を感じ、進んで手洗いやうがい、休み時間の過ごし方、給食など各々が目標をたてて取り組んでいくことを目指す。また、正しくない手洗いをしている動画

を視聴するなどして、正しい手洗いの重要性に気付かせ、進んでよりよい手洗いを実践しようとする児童を育てていきたい。

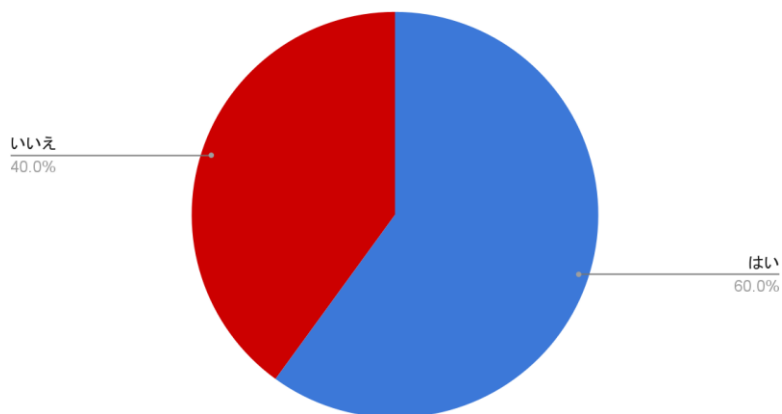
5 保健目標に関する実態 調査結果

①2 学年のアンケート結果

まいつきのほけんもくひょうをいしきしてこうどうしていますか。

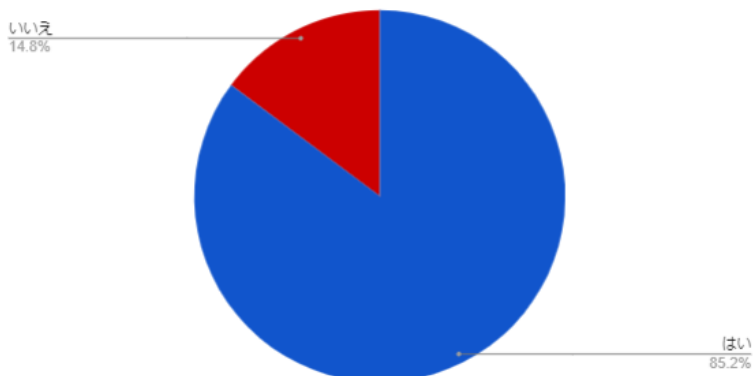


まいつきのほけんもくひょうをいしきしてこうどうしていますか。



②2 年 3 組のアンケート結果

まいつきのほけんもくひょうをいしきしてこうどうしていますか。



6 手洗いに関する実態 検証方法

期間 令和5年11月10日（金）～11月14日（火）の3日間

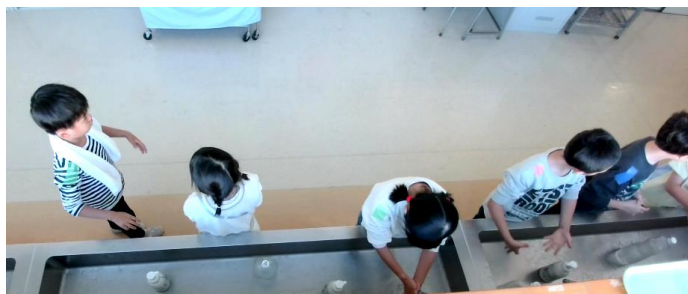
検証動画撮影のため
カメラを4台設置。



手洗いを終えた後の行動も分析。



2年生の学級ごとの手洗い状況を分析するため、児童の両肩に色別のカラーテープを付けて検証。



11月10日（金）

	出席人数	水道に来た		水道に来なかった（C）	手を洗っていない （B＋C）
		手を洗った（A）	手を洗っていない（B）		
1組	29名	13（45％）	0（0％）	16（55％）	16（55％）
2組	29名	7（24％）	7（24％）	15（52％）	22（76％）
3組	29名	19（66％）	0（0％）	10（34％）	10（34％）

11月13日（月）

	出席人数	水道に来た		水道に来なかった（C）	手を洗っていない （B＋C）
		手を洗った（A）	手を洗っていない（B）		
1組	30名	15（50％）	2（7％）	13（43％）	15（50％）
2組	29名	13（45％）	6（21％）	10（34％）	16（55％）
3組	29名	8（28％）	5（17％）	16（55％）	21（72％）

11月14日（火）

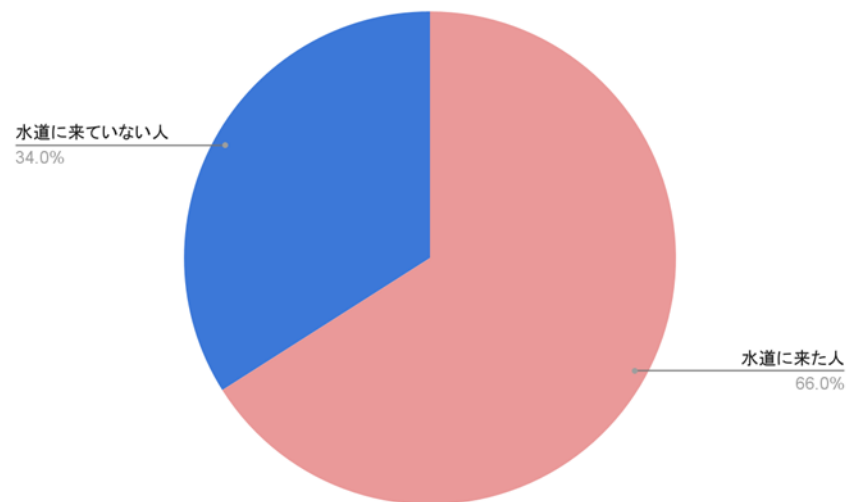
	出席人数	水道に来た		水道に来なかった（C）	手を洗っていない （B＋C）
		手を洗った（A）	手を洗っていない（B）		
1組	29名	24（83％）	0（0％）	5（17％）	5（17％）
2組	29名	20（69％）	3（10％）	6（21％）	9（31％）
3組	29名	23（79％）	3（10％）	3（11％）	6（21％）

3日間まとめ

	出席人数	水道に来た		水道に来なかった（C）	手を洗っていない （B＋C）
		手を洗った（A）	手を洗っていない（B）		
1組	88名	52（59％）	2（2％）	34（39％）	36（41％）
2組	87名	40（46％）	16（18％）	31（36％）	47（54％）
3組	87名	50（57％）	8（9％）	29（34％）	37（43％）

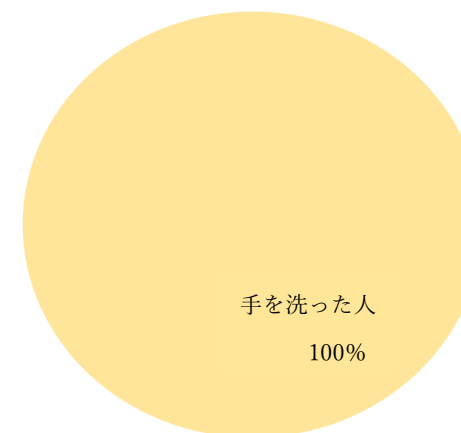
【2年3組】

11月10日（金）

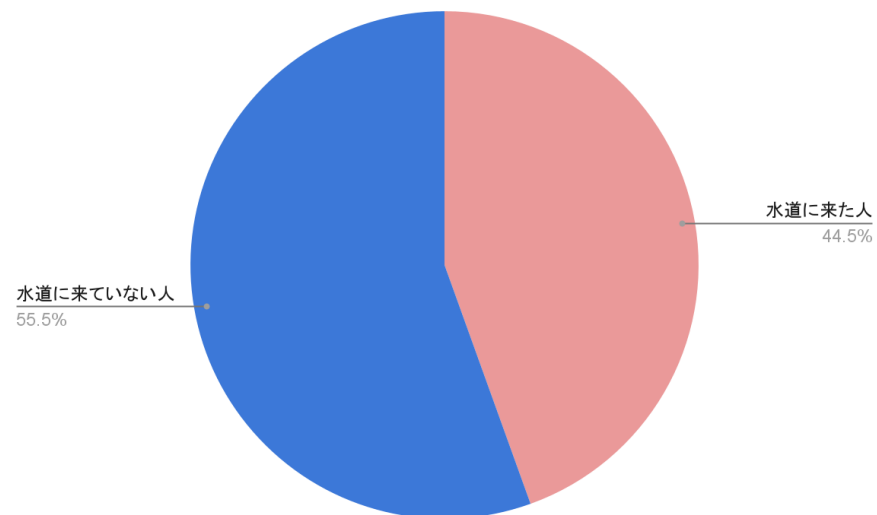


11月10日（金）

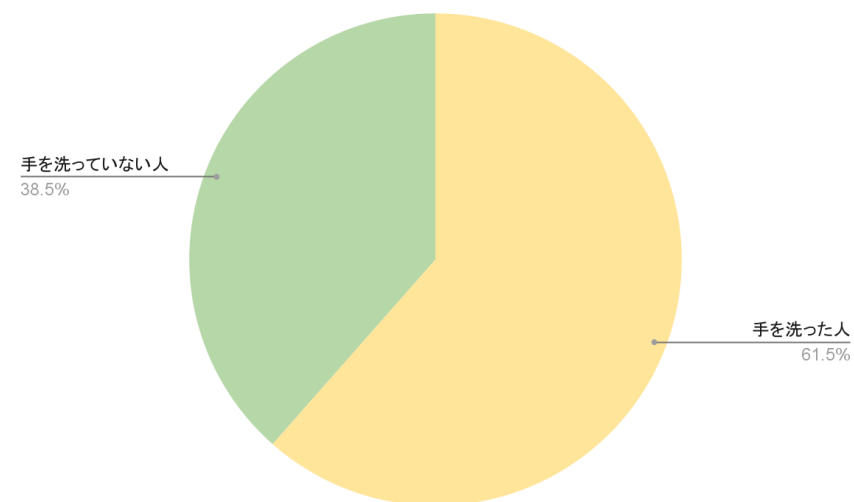
水道に来た人の内、手を洗ったか洗っていないか



11月13日（月）

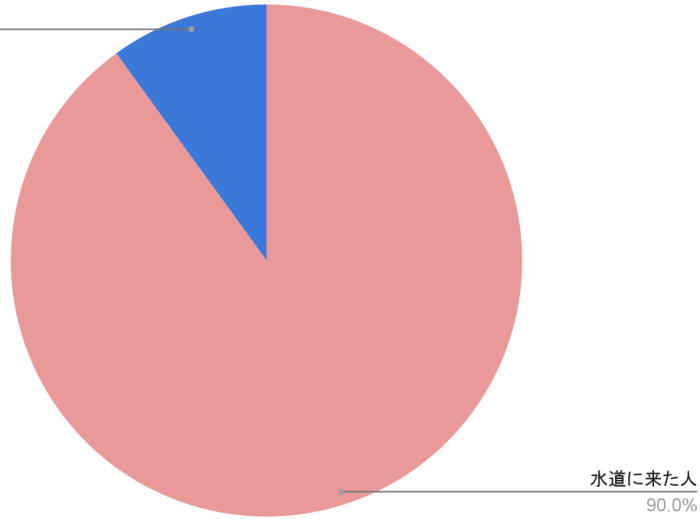


11月13日（月）



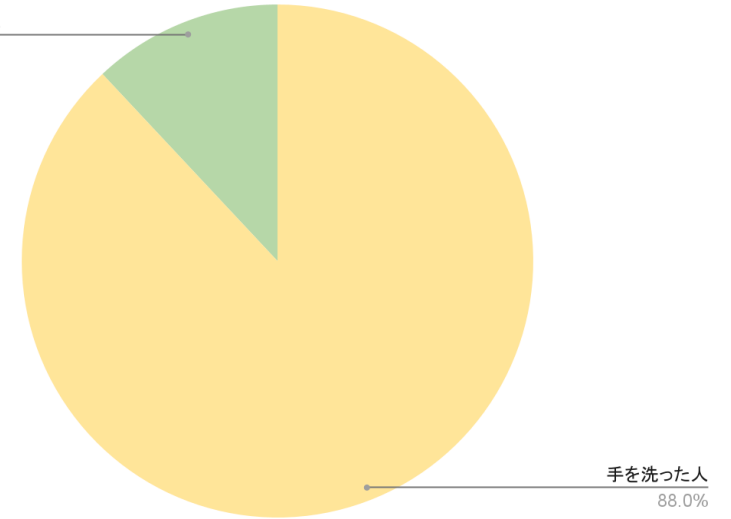
11月14日（火）

水道に来ていない人
10.0%



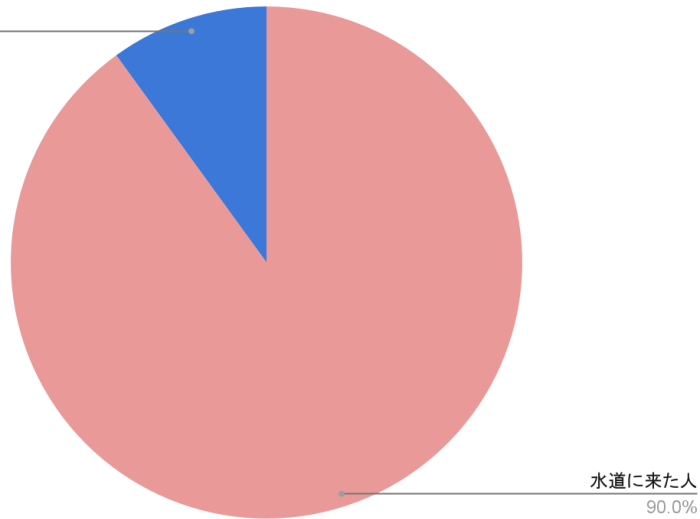
11月14日（火）

手を洗っていない人
12.0%



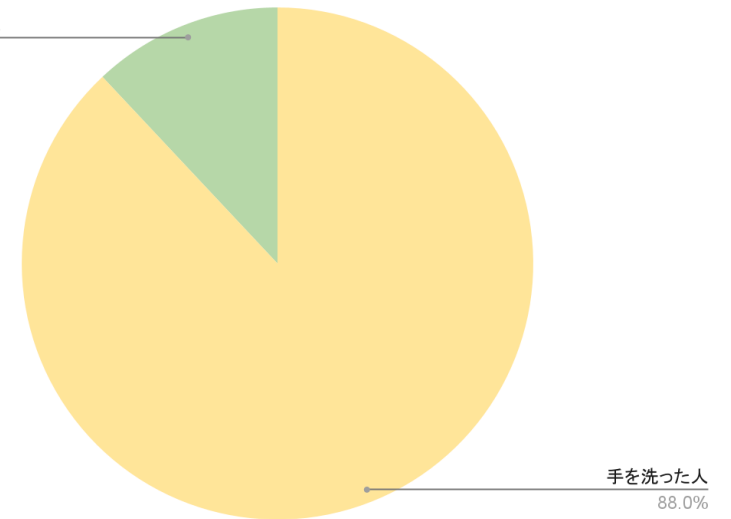
3日間まとめ

水道に来ていない人
10.0%



3日間まとめ

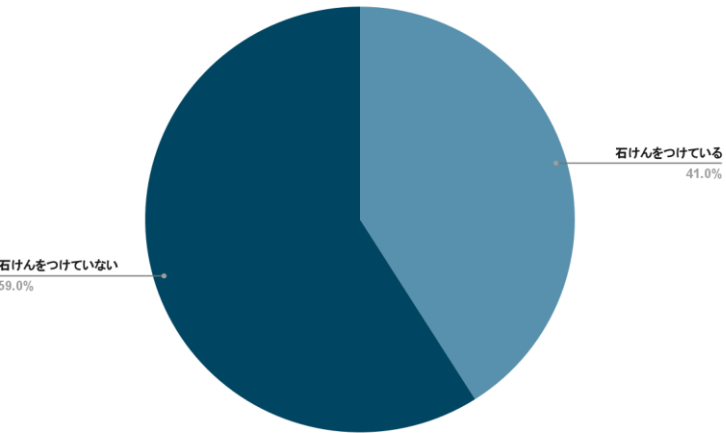
手を洗っていない人
12.0%



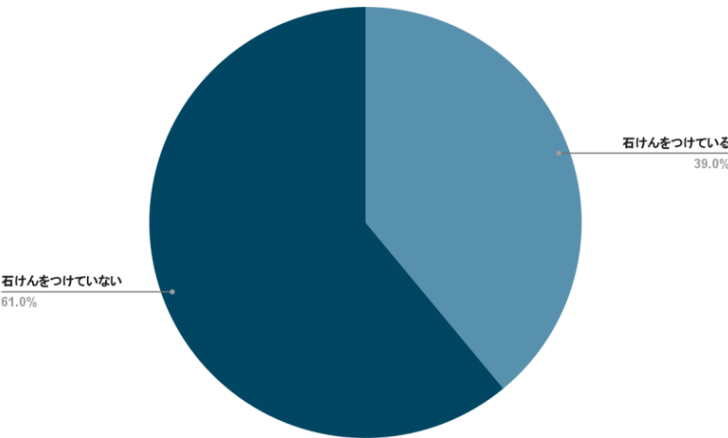
○手を洗った児童の中で、石けんをつけている・つけていない児童 【2年生】

	11月10日（金）	11月13日（月）	11月14日（火）	3日間合計
石けんをつけている児童	16（41%）	14（39%）	26（39%）	56（39%）
石けんをつけていない児童	23（59%）	22（61%）	41（61%）	86（61%）
合計	39名	36名	67名	142名

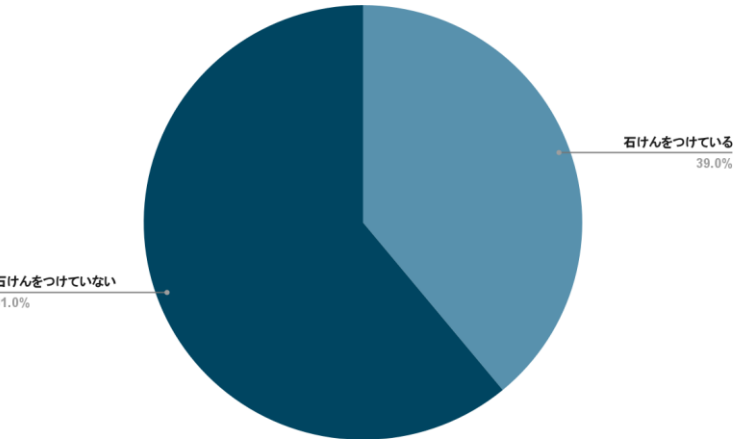
11月10日（金）



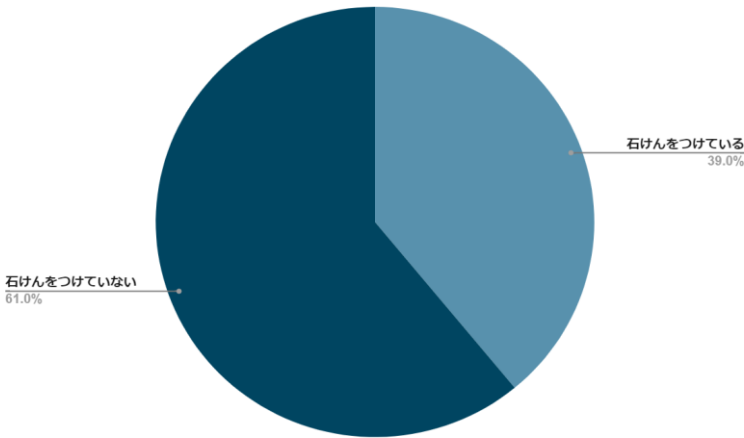
11月13日（月）



11月14日（火）



3日間合計



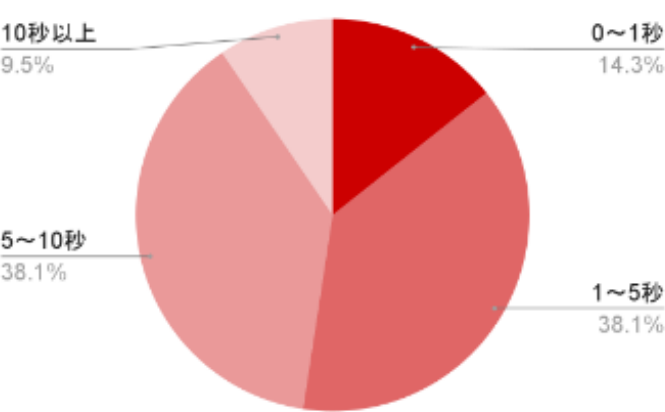
○手洗いをしている秒数 【2年生】

<平均>

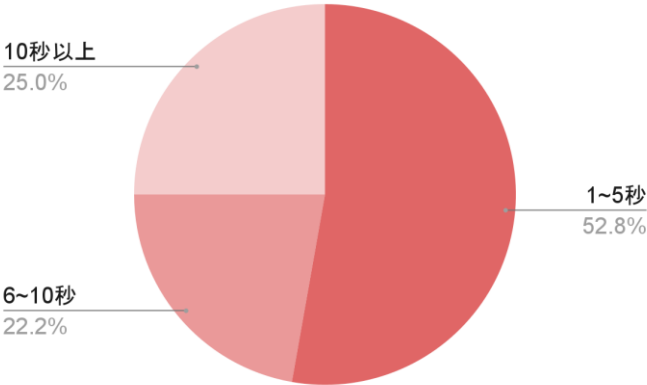
11月10日（金）	11月13日（月）	11月14日（火）
5.1秒	8.48秒	6.96秒

<割合>

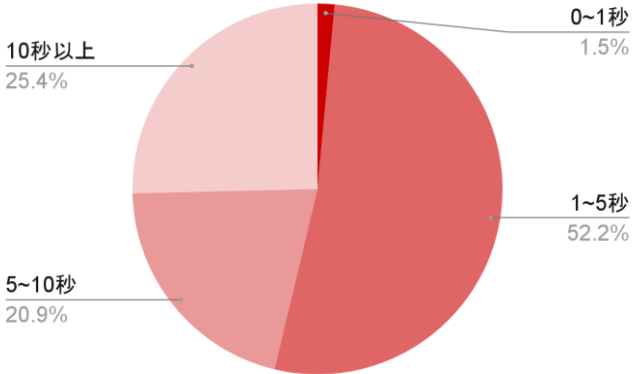
11月10日（金）



11月13日（月）



11月14日（火）



○手を洗い終わった後に、拭く場所【2年生】

	ハンカチで拭く	ズボン	その場で水滴を落とす
10 日（金） 46 名	26 （56%）	4 （9%）	16 （35%）
13 日（月） 48 名	20 （42%）	8 （16%）	20 （42%）
14 日（火） 72 名	28 （38%）	22 （31%）	22 （31%）
合計 166 名	74 （45%）	34 （20%）	58 （35%）

14 日のみ・・・友達のタオル借りる 1 名（1%） 髪で拭く 2 名（3%）

7 目指す児童像と本時の手立て

「元気にすごすことのよさを知り、実践しようとする子」

本時の具体的な手だて	期待される児童の姿
保健目標から冬を元気に過ごすためには何が必要か児童が考えて発表したものを分かりやすく思考ツール（イメージマップ）に表す。	元気に過ごすためにはたくさんのことに気を付けて生活しなければならないことに気付く。
正しくない手洗いをしている動画を視聴して、正しく手洗いするポイントを確認する。	自己の課題に気付き、正しく手洗いをするポイントについて考える。
養護教諭が手洗いで石けんを使うことの大切さを説明する。	なぜ石けんを使う必要があるのかを理解し、実践しようとする。
正しい手洗いの仕方についての歌を聞く。	正しい手洗いの仕方に関心をもち、実践しようとする。
普段行っている手洗い後の手にヨウ素液を付け、洗い残しや汚れを視覚化する。	手洗いの課題を見付け、洗い残しをなくすためにどのように洗えばよいか考える。

8 単元の概要と児童の反応

時間	ねらい	○主な学習活動	児童の振り返り
1時	日常の生活を振り返り、手洗いの大切さに気付く、自ら進んで上手に手洗いをしようとすることができる。	○12月の保健目標を確認する。 ○正しくない手洗いの動画を見て、正しい手洗いについて話し合う。 ○手にヨウ素液をつけ、汚れが落ちていなかった所、洗い残しやすい所を確認する。 ○手洗いの歌をもとに、実際に手を洗う。 ○今後の手洗いについての目標を決める。	・自分の手がどれくらい汚れているか分かった。今日習ったことを忘れずに行いたい。 ・手洗いの歌を歌って、これから手洗いをしていきたい。 ・石けんをつけて洗うことの大切さを知ることができた。 ・毎日、頑張れば自分の手がきれいになると思うから、一週間頑張りたい。 ・どこがどれくらい汚れているか分かったから、これからも気を付けて手を洗いたい。 ・授業をする前は、手洗いを気にすることはなかったけど、汚れているところが分かったから、決めたことをしっかりと行っていきたい。

9 本時案（1 時間扱いの 1 時間目）

（1）本時のねらい

日常の生活を振り返り、手洗いの大切さに気付き、自ら進んで上手に手洗いをしようとする
ことができる。

（2）本時の展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 ☆期待する児童の姿 評価【評価方法】T1 担任、T2 養護教諭
導 入 つ か む 10 分	○12 月の保健目標を確認する。 「冬を元気にすごそう」 ○冬を健康に過ごすためにはどんなこと に気を付けるとよいか考える。 ・手洗いをする ・うがいをする ・早寝早起き ・換気をする ・マスクをつける ・ごはんを食べる ・寝る ・衣服を調節する ・外で遊ぶ ○事前に解析した手洗いデータを確認す る。 <手だて> 自分の手洗いの仕方を見つめ直す。 めあて：手あらいについて、がんばることをきめよう。	※家庭科室に移動後、澱粉糊を付けて乾かし、全 員が手洗いを済ませておくようにする。 ●視覚的に分かりやすいようにイメージマップ で提示する。 ●事前に低学年の児童が手洗いをしている動画 の解析をし、結果を人型の数で示し、スライド に分かりやすくまとめておく。 (1) 手洗いをした・してない児童の人数 (2) 手洗いをしている時間の平均 (3) 手洗いをした後に、手を拭いている箇所

展 開 さ ぐ る 28 分	○正しくない手洗い動画を視聴しながら、正しい手洗いについて話し合う。 (個人→グループ→全体) ①水のみで、時間をかけて洗っている。 →石けんを付けて洗う。 ②手洗いの時間が短い。 →時間をかけて洗ったほうが良い。 ③石けんを使っていない。 →石けんを使って洗う。 ○石けんをつけて手洗いをする必要性について、T2 からの話を聞く。 ○正しい手洗いをするための歌を聞く。 ・やってみたい。 ・今まではできていなかった。 ○手洗いのポイントについて、T2 からの話を聞く。 ○スプレーで、手にヨウ素液をかけてもらい、汚れが落ちていなかったところ、洗い残しやすいところを確認する。 ・思ったより汚れていた。 ・しっかり洗ったはずなのに。 ○ヨウ素液をつけた後、どこが汚れているか確認する。 ○手洗いを実践する。 ・指の間まできちんと洗おう。 ・10 秒洗ってみよう。	●動画を通して、正しい手洗いの仕方の興味を高めさせる。 思・判・表：正しくない手洗いのポイントを見つけ、正しい手洗いの仕方について考えている。 【観察】 ●どの先生と同じ方法で手を洗っていたのか、挙手をして確認する。 ☆なぜ手洗いをする必要があるのか考える。 →泡をしっかりと立て、ばい菌を洗い流すため。 ☆手洗いの歌を聞き、正しい手洗いの仕方に関心もつ。 ●手洗いポーズをポスターで確認する。 ☆正しい手洗いの仕方を知り、実践しようとする。 ●安全面、注意事項について確認する。 ☆洗い残しがあることに気付き、洗い残しをなくすために、どうしたらよいか考える。 知・技：正しい手洗いをする事の大切さに気付いている。【観察】
ま と め 決 め る 7 分	○話し合ったことを参考にして、これからの手洗いについて、個人目標を決める。 ・手を 5 秒以上洗うようにする。 ・指と指の間を洗うようにする。 ・石けんをつけて、歌を歌いながらすみずみまで洗うようにする。 ○再度、保健目標を確認する。 「冬を元気にすごそう」	●一人一人の自己決定を認め、称賛して今後への実践意欲を高める。 ●ワークシートに記入後、目標を発表し合う。 ●決めたことを実践していくことを伝える。 (1 週間)

事後の指導

- ・授業後の1週間、毎日振り返りの時間を設け、ワークシートに記入し、実践意欲の継続化を図る。
- ・帰りの会で、手洗いを頑張っていることを確認し、称賛したり励ましたりする。
- ・個別に、新たな方法を加えて、さらに頑張りたいことなど努力できるように促す。

事後の評価

- ・主：個人目標を達成するために、進んで取り組もうとしている。(観察・ワークシート)

12 月 ほけん目ひょう「冬を元気にすごそう」

2 年()組 () 名前 _____

㊟ 手あらいについて、がんばることをきめよう。

○「いままでの 手あらいを ふりかえってみよう。」

◎これから 手あらいで がんばりたいこと」をきめよう！！

<かんそう>

☆まずは、「これから 手あらいで がんばりたいこと」を一しゅう間つづけてみよう！！

(その日のおわりに ◎ ○ △でふりかえってみましょう。)

日づけ	日	日	日	日	日	日	日
ふりかえり							
全クリア を目指そう							

<全クリアおめでとう>

もっとがんばりたいこと

10 事後 分析結果

12月13日（水）

	出席人数	水道に来た		水道に来なかった（C）	手を洗っていない （B＋C）
		手を洗った（A）	手を洗っていない（B）		
1組	28名	18人（65％）	0（0％）	10人（35％）	10人（35％）
2組	26名	26人（100％）	0（0％）	0（0％）	0人（0％）
3組	25名	21人（84％）	0（0％）	4（16％）	4人（16％）

12月14日（木）

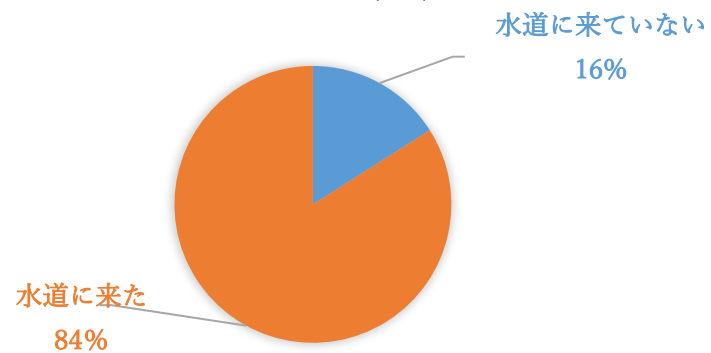
	出席人数	水道に来た		水道に来なかった（C）	手を洗っていない （B＋C）
		手を洗った（A）	手を洗っていない（B）		
1組	26名	19人（74％）	2人（7％）	5人（19％）	7人（26％）
2組	28名	19人（68％）	0人（0％）	9人（32％）	9人（32％）
3組	27名	21人（79％）	1人（3％）	5人（18％）	6人（22％）

2日間まとめ

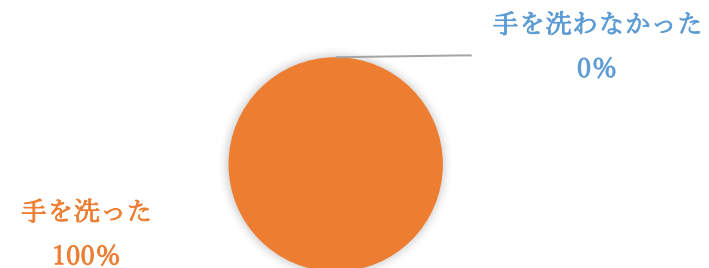
	出席人数	水道に来た		水道に来なかった（C）	手を洗っていない （B＋C）
		手を洗った（A）	手を洗っていない（B）		
1組	54名	37人（70％）	2人（3％）	15人（27％）	17人（31％）
2組	54名	45人（84％）	0人（0％）	9人（16％）	9人（16％）
3組	52名	42人（82％）	1人（1％）	9人（17％）	10人（19％）

〈割合〉【2年3組】

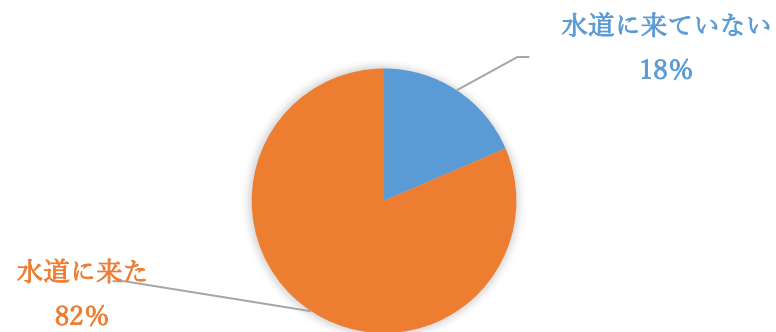
12月13日（水）



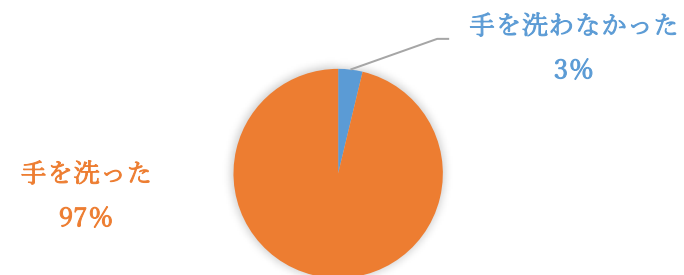
水道に来た人の内、手を洗ったか
洗ってないか



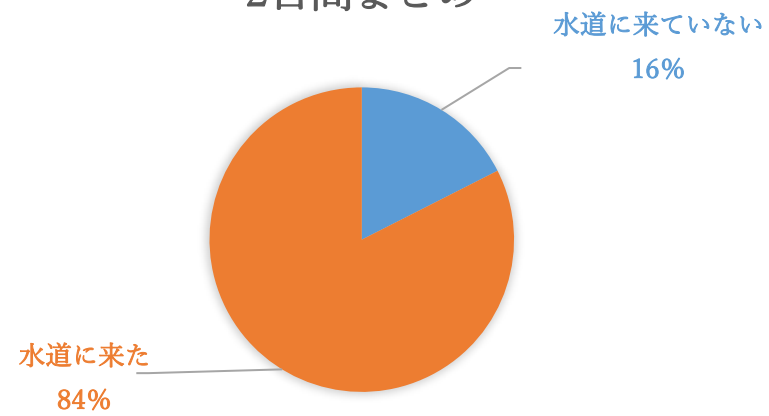
12月14日（木）



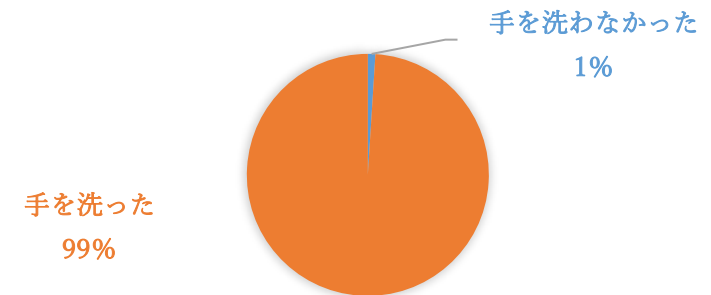
水道に来た人の内、手を洗ったか
洗っていないか



2日間まとめ



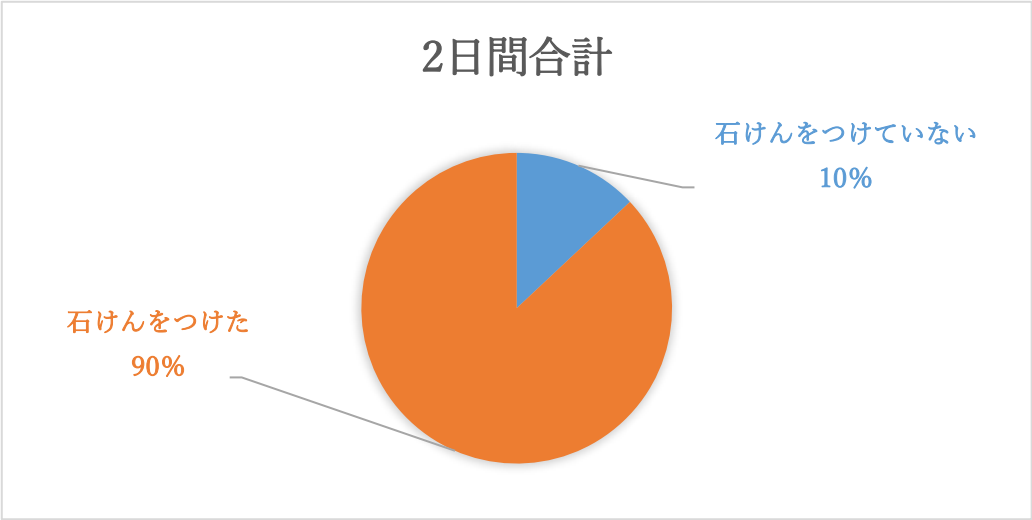
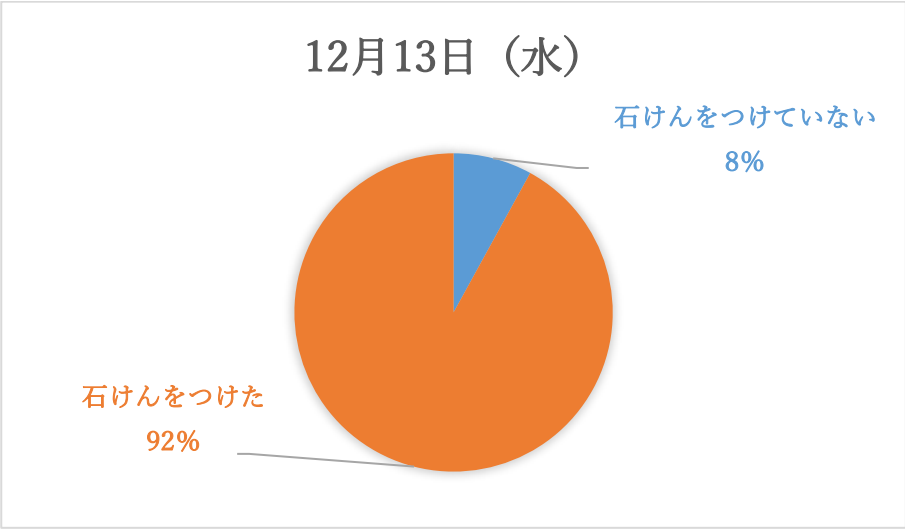
水道に来た人の内、手を洗ったか 洗っていないか



○手を洗った児童の中で、石けんをつけている・つけていない児童 【2年生】

	12月13日（水）	12月14日（木）	2日間合計
石けんをつけている児童	92%	87%	90%
石けんをつけていない児童	8%	13%	10%

〈割合〉



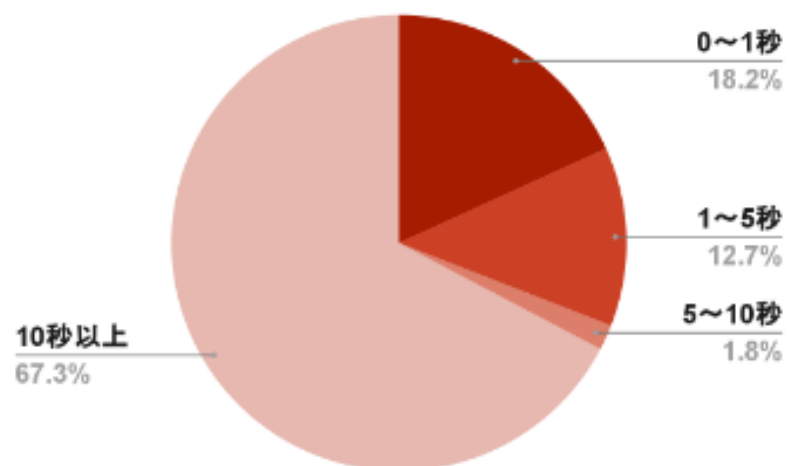
○手洗いをしている秒数 【2年生】

<平均>

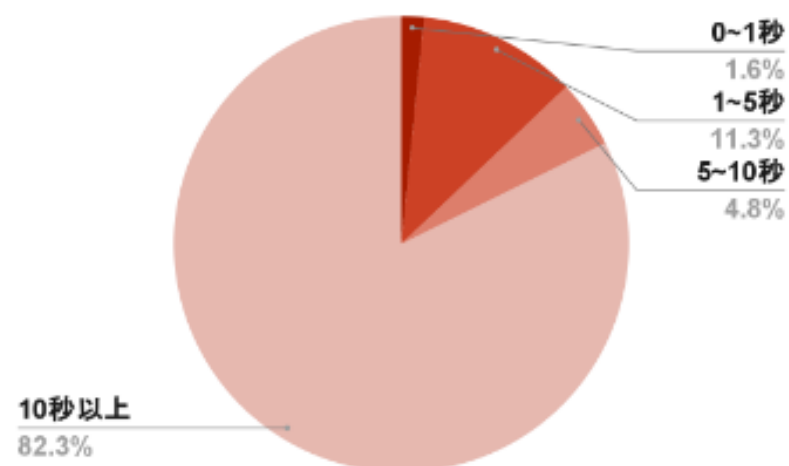
12月13日(水)	12月14日(木)
31.6秒	32.32秒

<割合>

12月13日(水)



12月14日(木)



○手を洗い終わった後に、拭く場所【2年生】

	ハンカチで拭く	ズボン	その場で水滴を落とす
13 日（水）	32%	33%	35%
14 日（木）	40%	31%	29%
合計	36%	32%	32%

11 成果と課題

成果

- 導入で、保健目標を提示していたため、保健目標を意識することにつながった。
- 手洗いの分析データへの反応が良く、自分事として捉えることができていた。
- 教師による正しくない手洗いの動画をみて、自身の課題に気付き、正しい洗い方に興味をもつ児童の姿が見られた。
- ヨウ素液の実験は、自身の手洗いの課題を見付けることに有効であった。一人一人が実感を伴いながら活動することができていた。
- 手洗いに対する意識が高まり、歌を歌いながら手を洗ったり石けんをつけたりする児童が増えた。
- 授業後から、低学年の水道に手洗いのポイントを掲示したことにより、手を洗う部位を意識しながら手洗いをする児童が増えた。

課題

- ▲手を洗う児童が増えたが、洗わない児童もいるため継続的に声を掛けていく必要性があった。
- ▲ヨウ素液の実験は、準備や実験中の時間が多くなるため、T Tでの授業づくりが前提となった。

12 講師の先生から

日本体育大学 体育部 児童スポーツ教育学科 教授
白旗 和也先生

○アクティブライフを推進するためには

運動習慣（体育【運動領域】、体育的活動）、食生活（食育【関連教科・行事等】）、生活習慣（体育【保健領域】、保健指導、総合的な学習の時間）

→総合的な学習の時間では、適時性が必要であり「手洗い大事だね」だけでは保健指導になる。そして行動変容まで追う。

○保健教育の分類

- ・体育科「保健領域」…実践的な理解（実感）が重要であるが、即効性を目標にしていない
- ・特別活動（学級活動・児童会活動・学校行事等における保健指導）…集団での話し合いを通して、個人の目標を自己決定し、個人で実践する児童の自主的、実践的な活動
- ・総合的な学習の時間「福祉・健康」…各教科等で身に付けた知識や技能等を活用した問題の解決や探究的な活動

○学校健康教育の充実に向けて

子どもが自分の健康状態に関心を持ち、健康上の課題を自分で考え、解決できるような資質や能力、すなわち健康を保持増進するための実践力を身に付けることができるようにすることである。

○指導内容の体系化

高校生…高齢者のことを取り入れる

小学生…今起きていること、近未来 → 実感させる（自分で行う）

○本時の講評

学級活動としての保健の学習は、適時性と行動が変容することが必要である。そのため、導入で保健目標を取り入れたことと検証結果を提示したことで、目標や実態が児童にも分かりやすく手洗いに対する必然性をもつことができた。また、手洗いの分析データを活用したことで、自身の実態に気づき、手洗いをする必要性を感じながら授業を受けることができていた。

石鹸の大切さについて専門家（養護教諭）から話をすることで、児童も「そうなんだ」とより真剣に聞くことができ附に落ちるため、今回の授業でのTTは効果的であったと考える。また、TTの動きが、準備や片付けの時に協力体制がとられていて、授業を円滑にすすめることができていた。

ヨウ素液の実験については、洗い残しの部位がすぐに視覚化できるところがよく、3年生の「健康な生活」（ブラックライト）と結び付けての学習となっていた。